

平成29年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	基礎学力講座1(数学) (Basic Aptitude Course ; Mathematics)		授業コード	A031732
担当教員名	平居 孝之		科目ナンバリングコード	A00102
配当学年	1	開講期	前期・後期	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	ノートは必ず準備し、毎時間の予習、復習を必ず実行してください。			
受講心得	授業中の私語は厳禁です。また、欠席・遅刻はしないように心掛けましょう。			
教科書	基礎学力講座(数学、経営経済学部) NBU出版会			
参考文献及び指定図書	その他、必要な図書については授業で指示します。			
関連科目	微分積分・カ学リテラシー			

授業の目的	<p>数学は専門科目を学習する上で『科学の言語』として欠かすことができません。併せて数学的なものの考え方や見方を身に付けておくことは人生を豊かにしてくれます。特に専門科目の内容を深め、理解するためにも少なくとも高等学校数学の基本的な内容は理解しておかねばなりません。この授業では、必要に応じて学習内容の振り返りや復習も講義中に随時取り入れ、高等学校数学の基本的な内容を一通り使いこなすことができることを目的としています。</p>
授業の概要	<p>皆さんが高等学校で既に学習した内容の復習が大半です。専門科目で不可欠な要素を中心に学習します。問題演習が主となります。宿題は毎時間課しますので積極的に挑戦し、次時までには必ずやっておいてください。授業内容や進度は、クラスによって調整する場合があります。P、Q、R等のクラス編成をしていますが、どのクラスを選択してもすべて同一のシラバスです。即ち、P(基本的事項)、Q(標準的な事項)、R(応用的な事項)を計画していますが学習する内容や項目もすべて同じです。クラスでの違いは取り扱う内容の程度です。本講義は卒業要件単位には算入せず、「合格」認定をゼミナールⅣの着手条件とします。ただし、留学生にはこれを適用しません。</p>

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週： 第1回・第2回【1Q】フレッシュマン・スタートアップセミナー 第1回【2Q、3Q、4Q】オリエンテーション、第1講義 数と式(1) 教科書p1-p2 講義の進め方等について説明します。数と式について学習します。 第2回【2Q、3Q、4Q】第2講義 数と式(2) 教科書p3-p4 数と式について学習します。	第1回【2Q、3Q、4Q】 (予習)教科書p.1-2 (宿題)配布課題 第2回【2Q、3Q、4Q】 (予習)教科書p.3-4 (宿題)配布課題
第2週：	

<p>第3回 【1Q】オリエンテーション、第1講義 数と式(1) 教科書p1-p2 講義の進め方等について説明します。数と式について学習します。</p> <p>第4回 【1Q】第2講義 数と式(2) 教科書p3-p4 数と式について学習します。</p> <p>第3回 【2Q、3Q、4Q】 第3講義 数と式(3) 教科書p5 数と式について学習します。</p> <p>第4回 【2Q、3Q、4Q】 第4講義 分数 教科書p6-p7 分数について学習します。</p>	<p>第3回 【1Q】 (予習)教科書p.1-2 (宿題)配布課題 第4回【1Q】 (予習)教科書p.3-4 (宿題)配布課題 第3回 【2Q、3Q、4Q】 (予習)教科書p.5 (宿題)配布課題 第4回【2Q、3Q、4Q】 (予習)教科書p.6-7 (宿題)配布課題</p>
<p>第3週：</p> <p>第5回 【1Q】第3講義 数と式(3) 教科書p5 数と式について学習します。</p> <p>第6回 【1Q】 第4講義 分数 教科書p6-p7 分数について学習します。</p> <p>第5回 【2Q、3Q、4Q】 第5講義 小数 教科書p8 小数について学習します。</p> <p>第6回 【2Q、3Q、4Q】 第6講義 四則混合算 教科書p9-p11 分数について学習します。</p>	<p>第5回 【1Q】 (予習)教科書p.5 (宿題)配布課題 第6回【1Q】 (予習)教科書p.6-7 (宿題)配布課題 第5回 【2Q、3Q、4Q】 (予習)教科書p.8 (宿題)配布課題 第6回【2Q、3Q、4Q】 (予習)教科書p.9-11 (宿題)配布課題</p>
<p>第4週：</p> <p>第7回 【1Q】 第5講義 小数 教科書p8 小数について学習します。</p> <p>第8回 【1Q】 第6講義 四則混合算 教科書p9-p11 分数について学習します。</p> <p>第7回 【2Q、3Q、4Q】 第7講義 比・割合 教科書p12 比と割合について学習します。</p> <p>第8回 【2Q、3Q、4Q】 第8講義 相似 教科書p13 分数について学習します。</p>	<p>第7回 【1Q】 (予習)教科書p.8 (宿題)配布課題 第8回【1Q】 (予習)教科書p.9-11 (宿題)配布課題 第7回 【2Q、3Q、4Q】 (予習)教科書p.12 (宿題)配布課題 第8回【2Q、3Q、4Q】 (予習)教科書p.13 (宿題)配布課題</p>
<p>第5週：</p> <p>第9回 【1Q】 第7講義 比・割合 教科書p12 比と割合について学習します。</p> <p>第10回 【1Q】 第8講義 相似 教科書p13 分数について学習します。</p> <p>第9回 【2Q、3Q、4Q】 第9講義 累乗・平方根・ルート 教科書p14 累乗・平方根・ルートについて学習します。</p> <p>第10回 【2Q、3Q、4Q】 第10講義 式の計算 教科書p15 分数について学習します。</p>	<p>第9回 【1Q】 (予習)教科書p.12 (宿題)配布課題 第10回【1Q】 (予習)教科書p.13 (宿題)配布課題 第9回 【2Q、3Q、4Q】 (予習)教科書p.14 (宿題)配布課題 第10回【2Q、3Q、4Q】 (予習)教科書p.15 (宿題)配布課題</p>
<p>第6週：</p>	

<p>第11回【1Q】第9講義 累乗・平方根・ルート 教科書p14 累乗・平方根・ルートについて学習します。</p> <p>第12回【1Q】第10講義 式の計算 教科書p15 分数について学習します。</p> <p>第11回【2Q、3Q、4Q】第11講義 方程式と不等式 教科書p16 方程式と不等式について学習します。</p> <p>第12回【2Q、3Q、4Q】第12講義 関数 教科書p17 分数について学習します。</p>	<p>第11回【1Q】 (予習)教科書p.14 (宿題)配布課題 第12回【1Q】 (予習)教科書p.15 (宿題)配布課題 第11回【2Q、3Q、4Q】 (予習)教科書p.16 (宿題)配布課題 第12回【2Q、3Q、4Q】 (予習)教科書p.17 (宿題)配布課題</p>									
<p>第7週：</p> <p>第13回【2Q、3Q、4Q】第11講義 方程式と不等式 教科書p16 方程式と不等式について学習します。</p> <p>第14回【2Q、3Q、4Q】第12講義 関数 教科書p17 分数について学習します。</p> <p>第13回【2Q、3Q、4Q】全体復習(1) 教科書p1-17 学習内容の全体について復習します。</p> <p>第14回【2Q、3Q、4Q】全体復習(1) 教科書p1-17 学習内容の全体について復習します。</p>	<p>第13回【1Q】 (予習)教科書p.16 (宿題)配布課題 第14回【1Q】 (予習)教科書p.17 (宿題)配布課題 第13回【2Q、3Q、4Q】 (予習)教科書p.1-17 (宿題)配布課題 第14回【2Q、3Q、4Q】 (予習)教科書p.1-17 (宿題)配布課題</p>									
<p>第8週：</p> <p>第15回【1Q】全体復習(1) 教科書p1-17 学習内容の全体について復習します。</p> <p>第15回【2Q、3Q、4Q】全体復習(1) 教科書p1-17 学習内容の全体について復習します。</p>	<p>第15回【1Q】 (予習)教科書p.1-17 (宿題)配布課題 第15回【2Q、3Q、4Q】 (予習)教科書p.1-17 (宿題)配布課題</p>									
<table border="1"> <tr> <td>授業の運営方法</td> <td>(1)授業の形式</td> <td>「演習等形式」</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(2)複数担当の場合の方式</td> <td>「複数クラス方式」</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(3)アクティブ・ラーニング</td> <td>「アクティブ・ラーニング科目」</td> </tr> </table>	授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」		(2)複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」		(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」								
	(2)複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」								
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」								
地域志向科目	該当しない									
備考	数学的ものの考え方および専門の講義についていけるかどうかを重視します。									

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①理由のない遅刻や欠席がなく、講師の話を傾聴することができる。 ②不明点について、積極的に質問し、理解を深めることができる。 ③数学の基礎を定着させるために、自主学習を行うことができる。
【知識・理解】	数学の基礎を理解し、活用できる。
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	①数学的なものの考え方ができる。 ②専門の講義内容について基礎知識を利用して考えることができる

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	

【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	10点	10点	10点
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	50点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	10点		

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	自分で考え、努力した成果や数学的な考えができていかどうかを評価の対象とします。 「達成水準」・・・指示した課題やレポートを正答として完了しているかどうかで判断します。
発表・その他 (無形成果)	真剣に授業に取り組むことができているかどうかを評価の対象とします。 「達成水準」・・・自己都合による欠席や遅刻・早退がなく、授業中も真剣に取り組んでいるかどうかで評価します。